



平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ ョ ウ デ ン
代 表 者 の 代 表 取 締 役
役 職 氏 名 社 長 山 口 鐘 畿
(コード番号：6881 東証第2部)
連 絡 者 の 取 締 役
役 職 氏 名 管 理 本 部 長 佐 藤 周 一
電 話 番 号 0 3 (5 7 8 9) 2 2 7 3

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表しました平成 30 年 3 月期の連結業績予想を修正することとし、またこれを踏まえ、同日に公表しました平成 30 年 3 月期の配当予想を修正することとしましたので、お知らせします。

記

○業績予想の修正

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|-----------------|----------------|----------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | (百万円) 55,000 | (百万円) 2,300 | (百万円) 2,100 | (百万円) 1,500 | (円銭) 30.19 |
| 今回修正予想 (B) | 56,000 | 3,000 | 3,000 | 2,000 | 40.25 |
| 増減額 (B-A) | 1,000 | 700 | 900 | 500 | 10.06 |
| 増減率 (%) | 1.8 | 30.4 | 42.8 | 33.3 | 33.3 |
| (ご参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期) | 53,862 | 2,065 | 1,896 | 1,467 | 29.53 |

修正の理由

当社においては、プリント配線基板の製造を中心とする電子事業において、2016 年秋以降国内のユーザー様からの試作開発や量産初期ロットに係る案件受注の好調が継続しており、また今後も IoT 関連や自動車分野における電装化及び新技術の開発が進められていく見通しから、当社の得意とするユーザー様の開発段階におけるメインサポーターの役割は、より重要度を増してくるものと見込んでおります。

このような環境を踏まえ、当第 3 四半期より、全社的な収益改善の活動に加えて、プリント配線基板製造における後工程ラインの設備増強や主力である長野工場の生産能力を引き上げて内製化を進めるなど、経営資源の投入配分を当社本来のフィロソフィーである「納期遵守、多品種・短納期対応力」の追求に集中させて、より多くのユーザー様のご要望にお応えできる体制の構築に努めております。

これらの活動の成果として、期初に想定した業績を大幅に上回る見通しとなりましたので、今期の業績について、上記のように修正する次第です。

○配当予想の修正

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | |
|--------------------|----------|---------------------|---------------------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 前回予想* | 円銭 — | 円銭 3.00—5.00 | 円銭 3.00—5.00 |
| 今回修正予想 | — | 7.00 | 7.00 |
| 当期実績 | 0.00 | — | — |
| 前期実績 (平成29年3月期) | 0.00 | 5.00 (特別配当2.00含) | 5.00 (特別配当2.00含) |

*平成29年5月15日発表

修正の理由

当社は安定配当を基本方針としており、財務体質の改善や設備投資のための内部留保などを勘案したうえで、業績に応じた利益還元をしていくべきと考えております。この基本方針のもと、今回の平成30年3月期の業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を1株当たり3—5円から7円に修正致します。

※将来についての記述に対する注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績及び配当予想額は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上